

処理性能の持続性や安定運転性に優れる

水処理用MF膜『フィルプレート』

東洋紡STC



エレメント設計にはシミュレーション技術を活用し、内部の流動パターンを低減し、長期にわたる安定運転を可能としている。

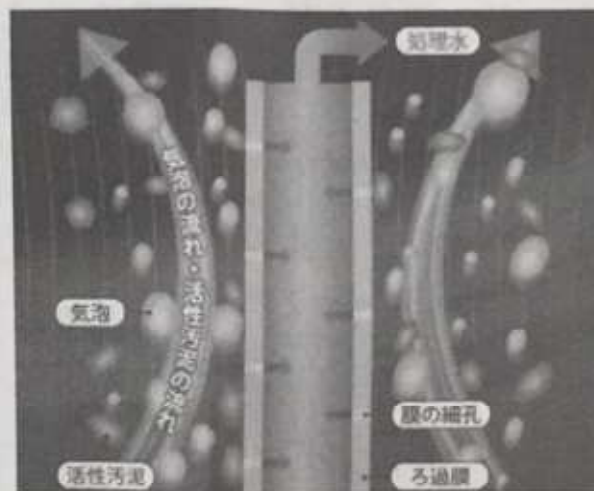
「フィルプレート」の特長は――。

□高い性能持続性を実現する独自の親水化技術
水処理膜の処理性能を発現させるには、親水化処理が必要であるが、従来の技術では親水化剤が脱落しやすく、親水性低下によって汚泥が付着・堆積して水処理性能が低下する問題があったが、同製品では、耐久性の高い特殊な親水化処理技術（特許取得）により、膜性能の持続性を高めている。

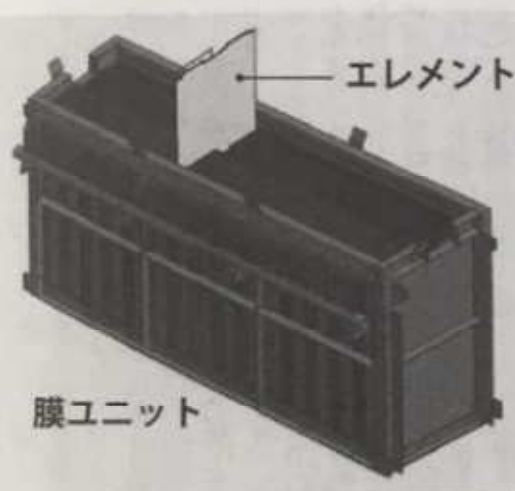
□高度な膜形成技術
膜表面の開孔率を高め、かつ孔径分布をシャープにしている。これにより、水処理時に膜の細孔にかかる負担を低減し、確実な分離性能を安定して得ることができる。

□付着汚泥が取れやすい
長期にわたる過運転を抑制でき、長期にわたって安定した膜ろ過処理が期待できる。――など。

http://www.shinko-san.co.jp/



エレメントの断面イメージ



膜ユニット

フィルプレート

東洋紡STC（大阪市北区堂島浜二丁目八、〒106-4777）は、昨年の十二月五日～七日まで東京ビッグサイトで開催された「エコフロ」で、水処理用MF膜「フィルプレート」を出展し、好評を博した。

従来の排水処理方法は、大きな曝気槽と沈殿槽を要するだけでなく、沈殿槽の上澄みを処理水とするため、処理水に濁質が混入するといった問題があった。

様々な膜分離技術をもつ東洋紡が開発した水処理用MF膜「フィルプレート」は、膜による分離を行うことから清澄な処理水を得ることができ、設備のコンパクト化にも貢献する。また、処理性能の持続性や安定運転性に優れ、高いメンテナンス性も有している。